

2022年3月期 第3四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権	第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	4

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 前年同期比、2020年12月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

3. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

【計数の表示方法について】

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行及び北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しております。

本決算説明資料における「第四北越銀行 単体」の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

・2022年3月期第3四半期、2021年12月末、2021年9月末の計数

第四北越銀行の計数

・2021年3月期第3四半期、2020年12月末の計数

第四銀行及び北越銀行の計数を単純合算

・2021年3月期の計数

2020年4月～12月の第四銀行及び北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益…資金利益が3億円減益となったものの、役務取引等利益が10億円、その他業務利益が22億円それぞれ増益となったことから、前年同期比29億円増益の677億円となりました。

○経常利益…貸倒償却引当費用が8億円増加し、株式等関係損益が41億円減少したものの、連結粗利益の増益に加え、営業経費が48億円減少したこと等により、前年同期比32億円増益の169億円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益…法人税等税金関係費用が6億円増加し、前年同期比27億円増益の113億円となりました。

		2022年3月期		2021年3月期	(単位:百万円)
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	(参考) 2021年3月期
連結粗利益	1	67,784	2,937	64,847	84,918
資金利益	2	46,119	△386	46,505	60,516
役務取引等利益	3	14,919	1,061	13,858	19,914
その他業務利益	4	6,745	2,263	4,482	4,486
営業経費	5	48,998	△4,837	53,835	71,960
貸倒償却引当費用	6	5,893	821	5,072	5,044
貸出金償却	7	1,581	894	687	1,906
個別貸倒引当金繰入額	8	2,048	△1,586	3,634	1,770
一般貸倒引当金繰入額	9	1,408	827	581	1,053
延滞債権等売却損	10	653	649	4	4
その他	11	202	38	164	309
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	326	△402	728	996
株式等関係損益	14	3,325	△4,176	7,501	9,768
その他	15	437	899	△462	△1,177
経常利益【216億円】	16	16,980	3,273	13,707	17,500
特別損益	17	△128	27	△155	220
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	16,852	3,301	13,551	17,721
法人税、住民税及び事業税	19	4,938	△37	4,975	5,951
法人税等調整額	20	208	720	△512	327
四半期(当期)純利益	21	11,705	2,617	9,088	11,441
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	22	317	△161	478	646
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【140億円】	23	11,387	2,778	8,609	10,795

(注) 【 】は2022年3月期予想値(2022年1月28日修正公表値)

(参考)

		2022年3月期		2021年3月期	(単位:百万円)
連結業務純益	24	17,137	5,756	11,381	13,265

(注) 連結業務純益＝第四北越銀行業務純益＋その他の会社の業務純益＋関連会社業務純益×持分－内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

- 業務粗利益は、前年同期比4億円増益の597億円となりました。
- ・資金利益は、円建債券の利回り低下等による有価証券利息配当金の減少を主因に前年同期比10億円減益の472億円となりました。
 - ・役務取引等利益は、保険窓口販売や投資信託関連手数料等の資産運用アドバイス収益および事業承継やM&A手数料等の金融ソリューション収益の増加等を主因に前年同期比1億円増益の97億円となりました。
 - ・その他業務利益は、お客様の為替リスクや金利リスクのヘッジを目的としたデリバティブ収益の増加を主因に前年同期比12億円増益の27億円となりました。
- 実質業務純益は、業務粗利益の増益に加え、銀行合併に伴うコストシナジーの発揮により経費が42億円減少したことから前年同期比47億円増益の144億円となり、国債等債券損益を控除したコア業務純益は前年同期比55億円増益の170億円となりました。
- 経常利益は、株式等関係損益が株式等売却益の減少等により54億円減少し、ネット信用コストが12億円増加した結果、前年同期比2億円増益の131億円となりました。
- 四半期純利益は、前年同期比2億円増益の92億円となりました。

(単位:百万円)

		2022年3月期 第3四半期	前年同期比	2021年3月期 第3四半期	(参考) 2021年3月期
業務粗利益	1	59,715	471	59,244	76,473
(コア業務粗利益)	2	(62,296)	(1,302)	(60,994)	(81,229)
資金利益	3	47,200	△1,004	48,204	62,311
うち投資信託解約損益	4	—	—	—	—
役務取引等利益	5	9,788	199	9,589	14,516
その他業務利益	6	2,726	1,276	1,450	△354
うち国債等債券損益	7	△2,581	△831	△1,750	△4,756
経費 (除く臨時処理分)	8	45,286	△4,230	49,516	65,956
うち人件費	9	23,695	△286	23,981	32,115
うち物件費	10	19,025	△3,272	22,297	29,267
実質業務純益	11	14,428	4,700	9,728	10,516
(コア業務純益) 【215億円】	12	(17,010)	(5,532)	(11,478)	(15,273)
(コア業務純益 (除く投資信託解約損益))	13	(17,010)	(5,532)	(11,478)	(15,273)
一般貸倒引当金繰入額①	14	1,369	776	593	1,184
業務純益	15	13,059	3,925	9,134	9,331
臨時損益	16	76	△3,671	3,747	5,459
うち不良債権処理額②	17	4,053	4	4,049	3,658
(貸倒償却引当費用①+②)	18	(5,423)	(780)	(4,643)	(4,843)
うち貸倒引当金戻入益	19	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	—	△49	49	50
うち償却債権取立益	21	319	△403	722	988
うち株式等関係損益	22	3,237	△5,404	8,641	10,890
経常利益 【169億円】	23	13,136	254	12,882	14,791
特別損益	24	△150	2	△152	239
うち固定資産処分損益	25	△45	92	△137	△284
うち減損損失	26	61	46	15	514
税引前四半期(当期)純利益	27	12,985	256	12,729	15,031
法人税、住民税及び事業税	28	3,363	△530	3,893	4,236
法人税等調整額	29	331	515	△184	643
四半期(当期)純利益 【113億円】	30	9,290	270	9,020	10,150
(参考)					
ネット信用コスト 14+17-19-20-21	31	5,103	1,232	3,871	3,804

(注) 【 】は2022年3月期予想値 (2022年1月28日修正公表値)

2. 金融再生法開示債権

第四北越銀行 単体

○不良債権額は前年同期比179億円増加し、1,118億円となり、不良債権比率も0.30%上昇の2.12%となりました。
○破産更生等債権は8億円、要管理債権は4億円それぞれ減少したものの、危険債権は192億円増加しました。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2021年12月末	2020年12月末比	2020年12月末	2021年9月末
破産更生等債権	55	△ 8	63	66
破綻先債権	18	0	18	18
実質破綻先債権	36	△ 9	45	48
危険債権	1,015	192	823	946
要管理債権	47	△ 4	51	47
小計 (A)	1,118	179	939	1,060
正常債権	51,419	999	50,420	50,884
債権額合計 (B)	52,537	1,178	51,359	51,945
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.12%	0.30%	1.82%	2.04%

3. 有価証券の状況

○第四北越フィナンシャルグループ 連結
有価証券の評価差額は562億円の含み益となりました。
○第四北越銀行 単体
有価証券の評価差額は617億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2021年12月末				2020年12月末				2021年9月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	17	0	0	0	407	2	2	0	17	0	0	0
その他有価証券	25,454	562	787	225	24,032	587	917	330	25,126	630	837	207
株式	1,373	428	463	34	1,368	424	494	69	1,414	481	510	29
債券	15,495	25	78	53	14,663	71	115	43	15,086	37	85	47
その他	8,584	108	245	137	8,000	90	307	216	8,625	111	241	130
うち外国証券	4,101	92	122	29	4,084	228	229	1	4,142	132	148	16

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	2021年12月末				2020年12月末				2021年9月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	17	0	0	0	407	2	2	0	17	0	0	0
その他有価証券	25,335	617	847	229	23,910	617	952	334	25,000	663	876	213
株式	1,254	470	496	25	1,246	444	500	55	1,288	497	519	21
債券	15,495	45	98	53	14,663	93	136	43	15,086	60	108	47
その他	8,584	101	252	151	8,000	79	315	236	8,625	104	248	144
うち外国証券	4,101	94	124	29	4,084	231	232	1	4,142	134	150	16

4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

○貸出金残高は、前年の新型コロナウイルス対応支援の反動により県内事業性貸出が減少したものの、県外事業性貸出が増加したほか、消費性貸出や公金貸出が増加したことなどから、全体では前年同期比1,283億円増加し、5兆1,010億円となりました。

○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比2,647億円増加し、8兆3,719億円となりました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2021年12月末	2020年12月末比	2020年12月末	2021年9月末
貸出金残高	51,010	1,283	49,727	50,393
県内事業性貸出残高	17,699	△ 538	18,237	17,421
うち中小企業向け貸出残高	14,796	△ 547	15,343	14,584
県外事業性貸出残高	10,285	1,075	9,210	9,910
うち中小企業向け貸出残高	4,515	431	4,084	4,342
消費性貸出残高	13,782	344	13,438	13,670
公金貸出残高	9,242	402	8,840	9,390
預金等残高	83,719	2,647	81,072	82,117
うち県内預金等残高	81,899	2,545	79,354	80,401
うち個人預金等残高	55,689	1,985	53,704	54,437

(注) 預金等残高＝預金＋譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期比470億円増加し、8,407億円となりました。

公共債が69億円減少したものの、投資信託が192億円、保険が346億円それぞれ増加いたしました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2021年12月末	2020年12月末比	2020年12月末	2021年9月末
預かり資産残高	8,407	470	7,937	8,275
投資信託	1,872	192	1,680	1,817
公共債	805	△ 69	874	832
保険	5,729	346	5,383	5,625

(注) 保険残高については、子銀行の合併に伴い算出方法を統一したため、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数との比較を記載しております。

以 上